

Windows11 の最新情報

米国マイクロソフトは10月5日にパソコンの新しい基本ソフト Windows11の提供を始めた。現行の Windows10 を提供しはじめてから6年ぶりの更新である。

Windows11 はテレワーク時代にパソコンをネットで使うことが当たり前になり、クラウド・コンピューティングの玄関口に位置付けられている。

現行の Windows10 は2025年10月までは、すべての機能が提供されサポートされるので、あと4年は心配ない。

Windows7 が発売されて以来、デスクトップ画面の壁紙には「窓」のイメージが使われていたが、11 では青いシートが波打つような、花びらが重なった絵柄になっている(図1)。これは「Windows11 Bloom(ブルーム)」と呼ばれている。マイクロソフトの開発者は「花からインスピレーションを得たこの美しいブルーのイメージは Bloom (ブルーム=咲く) と名付けられました。これは、皆さんが親しんでいるのは Windows(窓) ですが、同時に新しい始まり、新たな時代でもあります」と述べている。



図1

Windows11 を起動してまず目を引くのが、スタートメニューが画面中央に開く(図2)。まるでアップル社のマック(iOS)のようだ。Windows の使用歴の長いベテランには違和感を覚えるかもしれない。アイコン表示であるユーザーインターフェース(UI)が Windows10 から大きく刷新された。



図2

Cnet のパソコン技術交流会を開催して星川 Cnet 副代表理事が講師で「新 OS Windows11 について～新デザイン、新機能先取りレビュー」と題して10月25日オンラインで開催された。(図3)



図3

今使用しているパソコンで Windows11 は動くか、アップグレードの対応方法等について解説があった。